

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和元年度第2回野外体験教室運営協議会				
事務局 (担当課)		相模川自然の村野外体験教室 電話042-760-5445(直通)				
開催日時		令和2年1月23日(木)14時00分~16時00分				
開催場所		相模川自然の村野外体験教室 3階 応接室				
出席者	委員	10人(別紙のとおり)				
	その他	無				
	事務局	5人(渡邊所長 他4人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		<p>所長挨拶 会長挨拶 議題</p> <p>1 平成31年度(令和元年度)事業報告について (1) 利用状況について (2) 活動状況等について(学校利用・主催事業等) (3) アンケートの結果から</p> <p>2 令和2年度事業計画について (1) 運営方針について (2) 利用計画について (3) 主催事業、地域連携、他課との連携計画について</p> <p>3 協議・意見交換</p> <p>4 その他</p>				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。( 〃 は委員の発言、 〃 は事務局の発言 )

### 1 平成31年度(令和元年度)事業報告について

#### (1) 利用状況について

資料2、3ページにより説明

利用状況に台風の影響によるやませみからの振替利用分は入っているのか。  
入っています。

台風19号以降、やませみを青少年団体は利用しているのか。

土日などについては、藤野北小学校はやませみで学習活動を行っていませんので、青少年団体の利用に影響はありません。

若あゆは台風による影響を受けたのか。

施設に被害はありませんでしたが、事前に大きな影響が予想されたので、主催事業は予め早めに中止としました。市立小・中学校の利用に影響はありませんでした。

#### (2) 活動状況等について(学校利用・主催事業等)

資料4ページから10ページにより説明

体験メニュー別活動で、中学校の「団体独自の活動」とはどのようなものか。

若あゆの活動メニューにない連凧づくりや社協を招いての福祉体験、地域の方を招いて昔の話を聴く活動などがありました。

野外体験のメニューは充実しているが、災害、防災教育が指導要領で重視されている。独自の活動の増加は中学校に様々なニーズがあるということで、メニューとする可能性があるということではないか。若あゆは河岸段丘に近く、地域の成り立ちを学んだり、相模原市の副読本に掲載していることを実地で学んでも良いのではないか。

所内で防災教育について検討しています。オリエンテーリングの中に採り入れるなど引き続き検討したいと思います。

友達と一緒に生活する中での炊き出しや避難所体験などを考えています。

小学生は高学年の利用が中心だが、遠足での利用も考えたい。低学年が利用できるメニューもあるのか。

若あゆでは市内めぐりで4年生が立ち寄ることはありますが、活動はありません。低学年向けの活動として、言葉集めや生活科に関連した例をお示ししていますが、学校からのオファーはない状況です。

やませみでは3年生が遠足で利用しています。他の場所に立ち寄ってから来所し、クラフト系の体験を行っています。今年度は学校の希望により自然の染め物を行いました。少し難しいようでした。活動内容は学年と時間に応じて相談したいと思います。

これまで小学校は5年生の宿泊利用が中心でしたが、日帰りや遠足での活用

は大変ありがたいと思います。御希望に応じて指導主事が相談させていただきます。

若あゆの「縄文の暮らし」は161人が活動しているが、「石器」と「縄文土器」は0人となっている。暮らしの活動は石器や土器にはつながらないのか。

「縄文の暮らし」は火を起し、その火で使い古代米を炊き、縄文笛を焼く活動を3時間で行っています。石器と土器も3時間の活動となっているため、時間の制約があるようです。

若あゆには銀河ドームで行うスターウォッチングがあるが、星やISSを目視することにより皆で同じ体験ができる。普段は夜の学校生活はないので、皆で共通の体験をしても良いのではないか。

学校での勉強は昼間のみなので、夜に共通の体験をすることは貴重な機会になると思います。ご意見を参考にさせていただきます。

農業体験は小学校5年生と中学校1年生が行っているが、学年を限定しているのか。

宿泊利用は小学校5年生と中学校1年生ですが、他の学年も日帰り利用は可能です。ただし、現在のところ利用は少ない状況です。

学習指導要領が変わっているので、活動内容も時代に応じて変化してはどうか。

星の観察など貴重なご意見をいただき大変ありがたく思います。1泊2日の日程だとどうしても夜間はキャンプファイヤーやキャンドルファイヤーが入ってきますが、少しの時間でも星を見るように声掛けするなど意識したいと思います。

キャンプファイヤーの最中に金星を皆で一緒に見るだけでも何かのきっかけになる。検討して欲しい。

若あゆ、やませみではオリンピック関連の対応はあるのか。

現在のところ予定はありません。やませみではパラリンピックのカナダチームによる事前合宿の相談がありましたが、先日お断りの連絡がありました。主催事業の当選者に対して当日の参加者が少なくなっているが、当日のキャンセルなどがあり予め補欠を決めておくことは難しいのか。

キャンセルを見込んで対応可能な範囲で多めに当選者を決定しています。過去にはやませみでキャンセルがなく、当選者全員で参加いただいたこともありました。

やませみ自然体験スクールは応募者数に対し当選者数が半数以下となっており、関心の高さが伺える。家族や地域での体験は学校での活動とは違うものである。職員の負担もあるが、主催事業を増やしてはどうか。

来年度の若あゆスターフェスティバルは回数や内容を変えての実施を検討しています。

やませみ自然体験スクールも回数を増やす予定です。

### (3) アンケートの結果から

資料1 1ページから26ページにより説明

青少年団体のアンケートで若あゆのふれあいホールが暑いとの意見が毎年出されている。保護者に状況を予めお知らせし、理解を求めるようにしては。

現在の利用の手引きにも空調設備がない旨を記載はしていますが、よりわかり易くお伝えできるよう改善します。

熱中症予防など利用者の安全のため運営協議会としても改善を要望する。

市の財政状況や優先順位など厳しい状況が続いていますが、引き続き努力してまいります。

22ページで「利用の手引き」活動メニューを「使用しなかった」が45.9%となっているが、問題はないのか。

若あゆを利用する青少年団体の中には、鼓笛隊のように他の練習場所が確保できずに練習の場として利用する団体も多くなっています。独自の活動と捉えおり、問題はありません。

同じ22ページの「職員の支援」で「やや悪い」が1件、「使い勝手」の「やや不便」が7件、「不便」が2件となっているが。

「職員の支援」は野外炊事のごみの分別の説明が不十分と感じたようです。

このご意見をいただいたため、職員間で説明内容について再確認しました。

「使い勝手」の「不便」は館内の暑さとシャワーの温度調節、「やや不便」も空調に対するご意見が多くなっております。施設の老朽化の影響が出ていますが、可能なものから対応していきます。

23ページの自由記述については、細かな対応が必要になると思うが、可能なものから実現願いたい。

アンケートで「やや不満」などの記載があった場合、事後対応しているのか。

改善はしていますが、記載いただいた団体に直接連絡はしていません。

13ページ「(ウ) 体験活動について」の記述で「子どもだけで作成できるように難易度が事前にわかると良いと思います。」とある。体験することと完成することの意義は違うと思うが、見解をお聞かせ願いたい。

例えば竹笛を作りながら気づいて欲しいこともあります。子どもにとっては音が出ないと失敗になってしまいます。先生方には学校のねらいを達成したいという話をしていますが、事前によく相談しながら進めていきたいと思えます。

子どもは出来たか出来ないかが大事だが、プログラムごとに難易度を出すのは個人差もあり難しいのではないか。

学校のねらいと指導者の考えをすり合わせて対応を良くし、例えば竹笛なら全員が鳴らないのであれば最初からゴールを低くしても良いのではないか。

## 2 令和2年度事業計画について

### (1) 運営方針について

資料27ページにより説明

中学校の活動は集団作りがメインで学び中心ではない。プログラムの充実に当たり、プログラミングやドローンの活用、ICTなども採り入れる必要があるのではないかと。運営方針の3(1)アでは「教員の指導力向上につながる活動の指導」とあるが、学校では業務量が多く働き方改革が待ったなしの状態である。活動をパターン化して若あゆ、やませみで教員をサポートしてもらえれば、先生方は生徒指導などに集中できるのではないかと。

中学校のプログラムづくりについては、今後も学校のねらいに寄り添って協力してまいります。貴重なご意見として受け止めます。野外体験教室は指導主事を配置している全国的にも珍しい施設であり、体験活動を重視している相模原市として深い学びをより良いものであるという願いで取り組んでまいりました。中学校も悉皆の2泊利用から1泊、利用なしも含めた選択制に移行しており、今後も各学校のプログラム編成の中で検討してまいります。

学校の担当者は毎年変わるので、学校内でこれだけやればできるという情報が伝わることで負担の軽減につながるのではないかと。プログラムも野外での集団づくりの活動もある。オリエンテーションに課題を入れても良い。中学校の要望に応えられるよう検討願いたい。

子ども会も組織が減る一方だが、少しでも多く利用できるようにしたい。市子連事務局の青少年学習センターとも連携をお願いしたい。

引き続き青少年学習センターと連携してまいります。

## (2) 利用計画について

資料28ページから29ページにより説明

若あゆは学校の宿泊利用が減るとのことだが、日帰り利用が増えたのか。

宿泊の利用校数は減っていますが、2校利用が単独利用になったため、日帰り利用の枠は増えていません。

中学校で利用しない学校はあるのか。

今年度が4校で来年度は5校が利用なしとなります。

東京オリンピックの自転車ロードレース開催日は通常営業か。

通常どおり青少年団体の利用日となります。

## (3) 主催事業、地域連携、他課との連携計画について

資料31ページから32ページにより説明

スターウォッチングは案1となるのか。

案1で実施する方向で、参加人員は320名を予定しています。

やませみの主催事業は変更があるのか。

2回から3回に増やす方向で検討しています。

若あゆの農園を地権者にお返しするとのことだが、食農体験デーの開催に影響があるのか。

お返しする農園は畑のため、水田で行う食農体験デーには影響はありません。

ん。

農園の返却によりどのような影響があるのか。

J A 補助事業で行う野菜の収穫体験などへの影響が考えられます。

はやぶさ 2 の帰還に合わせた主催事業などは計画していないのか。

主催事業の開催は難しいですが、帰還の日が分かれば関連付けた活動などを検討したいと思います。

昨年から 11 月に大島観光協会で感謝デーを開催しており、自治会、相模女子大などが参加している。若あゆにもぜひ参加をお願いしたい。

若あゆも参加を検討させていただきます。

### 3 協議・意見交換

委員より市内での音楽活動について情報提供された。

### 4 その他

事務局より委員の任期が令和 2 年 4 月 30 日までとなっていること、令和 2 年度も 2 回程度の会議開催を予定していることを報告した。

## 野外体験教室運営協議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	福井 智紀	麻布大学	会長	出席
2	沢辺 雅子	陽光台小学校		出席
3	加藤 正樹	内郷中学校		出席
4	福田 豊	相模原市子供会育成連絡協議会		出席
5	近藤 和彦	相模原市スポーツ少年団		欠席
6	笹野 茂	下大島地区ふれあい農業組合		出席
7	佐藤 輝美	活動協力者		出席
8	中里 健	大島観光協会	副会長	出席
9	松石 藤夫	活動協力者		出席
10	鈴木 洋子	公募委員		出席
11	瀬間 一美	公募委員		出席